

# 令和4年度 岐阜市環境基本計画 評価報告書



長良川（岐阜市環境部職員撮影）

令和4年10月14日  
岐阜市環境審議会 環境基本計画評価部会

## はじめに

---

岐阜市は、2018年3月に策定した「岐阜市環境基本計画（以下「計画」という。）」に基づき5つの施策体系のもと、様々な取り組みを推進しています。

本計画に掲げる各施策の取り組みを着実に実行し、成果を上げていくためには、客観的な立場から取り組みの進捗状況を点検・評価する仕組みが必要であり、こうした役割を担う岐阜市環境審議会では専門部会「環境基本計画評価部会（以下「評価部会」という。）」を設置し、毎年度、点検・評価作業を実施しています。

点検・評価作業は、市民の意見や取り組みの進捗状況などを把握するとともに、関係部署から提供された資料の精査やヒアリングなどを行いながら進め、このたび、2021年度の評価結果をとりまとめましたので報告します。

## 目次

---

1 点検・評価方法	1
(1) 点検・評価の目的	1
(2) 点検・評価の体制	1
(3) 点検・評価の進め方	1
2 施策全体評価	2
(1) 計画全体の評価	2
(2) 市民アンケート調査、市民意識調査の結果	3
3 施策別評価	6
<b>施策1</b> 生活環境を快適にします	6
<b>施策3</b> 生物多様性を保全します	24
<b>施策5</b> 環境意識を高めます	29
4 評価結果の公表	38
(1) 評価結果の公表	38
(2) 評価結果への対応	38

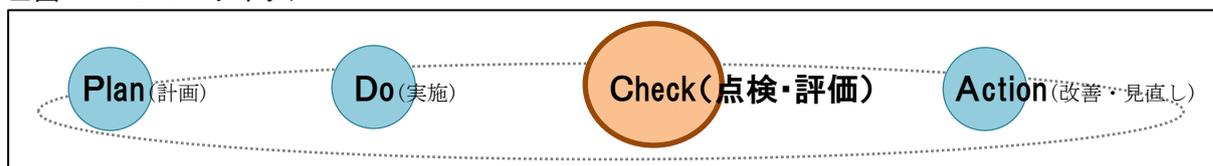
5 環境白書の改善等 .....	38
(1) 環境白書に関する意見 .....	38
(2) 環境白書の改善内容等 .....	38
6 令和3年度の評価結果への対応 .....	39
(1) 施策2の評価結果について .....	39
(2) 施策4の評価結果について .....	39
(3) 施策5の評価結果について .....	40
7 資料.....	41
(1) 点検・評価作業の経緯 .....	41
(2) 岐阜市環境審議会環境基本計画評価部会委員名簿 .....	41
(3) 岐阜市環境審議会委員名簿 .....	42
(4) 岐阜市環境審議会環境基本計画評価部会設置要領 .....	43

## 1 点検・評価方法

### (1) 点検・評価の目的

- ・環境基本計画に掲げる各施策の進捗状況を把握し、市に対し施策の推進、改善、見直し等を求めていくため、市環境審議会で点検・評価を実施します。

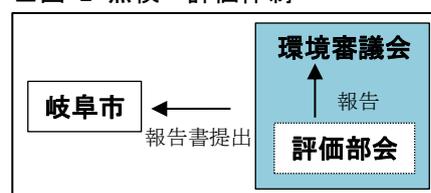
■図-1 PDCAサイクル



### (2) 点検・評価の体制

- ・市環境審議会に専門部会「環境基本計画評価部会」を設置し、点検・評価を実施します。
- ・点検・評価結果は、市環境審議会へ報告し、評価報告書として市へ提出します。

■図-2 点検・評価体制



### (3) 点検・評価の進め方

- ・環境基本計画に掲げる5つの施策について、2022年度まで順次、点検・評価を実施します。(表-1参照)
- ・施策1「生活環境を快適にします」、施策2「地球環境を保全します」、施策3「生物多様性を保全します」、施策4「ごみを減量・資源化します」については、5年間で3回の点検・評価を実施します。
- ・本計画の最重点項目に対応する総合的施策である施策5「環境意識を高めます」については、毎年点検・評価を行います。
- ・関係各課からのヒアリングや市民アンケート、岐阜市環境白書などを参考に、点検・評価を実施します。
- ・施策全体及び指標別の点検・評価を行い、報告書として結果をとりまとめます。

■表-1 年度別評価対象施策一覧表

環境基本計画の施策	指標数	2018年度 達成状況評価	2019年度 達成状況評価	2020年度 達成状況評価	2021年度 達成状況評価	2022年度 達成状況評価
施策1 生活環境を快適にします	16	○			○	○
施策2 地球環境を保全します	6		○	○		○
施策3 生物多様性を保全します	4		○		○	○
施策4 ごみを減量・資源化します	4	○		○		○
施策5 環境意識を高めます	9	○	○	○	○	○

## 2 施策全体評価

- ・環境基本計画は、5つの施策で構成されており、それぞれを計画的に進めることが重要です。それらの取り組み状況や進捗状況は、市民の関心度や意識により確認され得るものであるため、環境に関するアンケート調査や意識調査の結果も参考にしました。

### (1) 計画全体の評価

#### ① 指標の達成状況一覧

施策名	指標数	目標値達成指標数 ( ) は達成率				
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
施策1 生活環境を快適にします	16	11 (69%)	10 (63%)	13 (81%)	13 (81%)	
1 大気環境の保全	5	5 (100%)	5 (100%)	5 (100%)	5 (100%)	
2 水・土壌環境の保全	5	3 (60%)	3 (60%)	4 (80%)	3 (60%)	
3 騒音・振動・悪臭の規制	3	1 (33%)	0 (0%)	1 (33%)	2 (66%)	
4 環境美化の推進	3	2 (66%)	2 (66%)	3 (100%)	3 (100%)	
施策2 地球環境を保全します	6	2 (33%)	2 (33%)	2 (33%)	3 (50%)	
施策3 生物多様性を保全します	4	0 (0%)	1 (25%)	1 (25%)	2 (50%)	
施策4 ごみを減量・資源化します	4	1 (25%)	2 (50%)	1 (25%)	1 (25%)	
施策5 環境意識を高めます	9※	5 (56%)	4 (44%)	2 (22%)	2 (25%)	
1 ひとづくり・まちづくりの推進	6※	5 (83%)	4 (67%)	2 (33%)	2 (40%)	
2 環境重点地区の設定	3	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	
合計	39※	19 (49%)	19 (49%)	19 (49%)	21 (55%)	

※「岐阜市エコフェスタ」(岐阜市まるごと環境フェア)が2020年度に終了したため、2021年度以降は指標数を1つ差し引く

#### ② 評価

##### 評価部会からの意見

◎ 計画策定後4年目を迎えたこともあり、達成した指標は21で達成率は55%と、昨年度と比較すると若干増加している。残り1年の計画期間中に、未達成の指標について目標を達成できるよう、さらに努力してもらいたい。

**(2) 市民アンケート調査、市民意識調査の結果****① 市民アンケート調査結果**

- ・市（環境部）では、環境基本計画の指標の進捗状況や市民等の環境活動に対する関心度等を把握するため、毎年度、みんなの森 ぎふメディアコスモス来館者及び「岐阜市エコフェスタ」来場者を対象にアンケート調査を実施しています。

※なお、「岐阜市エコフェスタ」は2020年度で終了したため、2021年度はみんなの森 ぎふメディアコスモス来館者のみを調査対象としました。その結果、主に認知度に変動が見受けられました。

**Q1. 岐阜市環境基本計画を知っていますか**

回答項目	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
知っている	19.8%	21.5%	17.6%	19.0%	17.3%	
ぎふメディアコスモス	12.8%	17.0%	6.7%	13.0%	17.3%	
岐阜市エコフェスタ	25.7%	25.5%	26.8%	24.3%		
名前は知っている	28.2%	31.7%	33.1%	33.1%	24.6%	
ぎふメディアコスモス	28.8%	24.2%	24.6%	27.2%	24.6%	
岐阜市エコフェスタ	27.8%	38.1%	40.3%	38.4%		
知らない	51.9%	46.8%	49.3%	47.9%	58.0%	
ぎふメディアコスモス	58.4%	58.9%	68.7%	59.7%	58.0%	
岐阜市エコフェスタ	46.5%	36.4%	32.9%	37.3%		

**分析** 「知っている」と回答した人の割合が減少し、「知らない」と回答した人の割合が増加した。調査対象が変わったことが要因と考えられるが、より一層積極的な広報が必要である。

**Q2. 市の環境重点地区を知っていますか**

回答項目	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
知っている	11.2%	10.6%	8.0%	11.2%	8.8%	
ぎふメディアコスモス	5.9%	7.5%	4.6%	6.4%	8.8%	
岐阜市エコフェスタ	15.8%	13.3%	11.0%	15.5%		
名前は知っている	19.0%	22.8%	23.3%	22.3%	20.5%	
ぎふメディアコスモス	17.0%	16.8%	15.7%	19.1%	20.5%	
岐阜市エコフェスタ	20.7%	27.9%	29.9%	25.3%		
知らない	69.7%	66.6%	68.7%	66.5%	70.7%	
ぎふメディアコスモス	77.1%	75.8%	79.7%	74.5%	70.7%	
岐阜市エコフェスタ	63.5%	58.8%	59.2%	59.2%		

**分析** 「知っている」と回答した人の割合が減少し、「知らない」と回答した人の割合が増加した。調査対象が変わったことも要因と考えられるが、より一層積極的な広報が必要である。

**Q3. 生物多様性の言葉の意味を知っていますか**

回答項目	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
知っている	40.1%	35.3%	37.5%	48.3%	55.9%	
ぎふメディアコスモス	35.6%	35.7%	38.3%	49.9%	55.9%	
岐阜市エコフェスタ	43.8%	35.0%	36.8%	47.0%		
名前は知っている	27.0%	32.8%	37.2%	27.3%	29.3%	
ぎふメディアコスモス	30.5%	33.3%	36.2%	24.6%	29.3%	
岐阜市エコフェスタ	24.1%	32.4%	38.1%	29.8%		
知らない	32.9%	31.9%	25.3%	24.3%	14.8%	
ぎふメディアコスモス	33.9%	31.0%	25.5%	25.5%	14.8%	
岐阜市エコフェスタ	32.1%	32.6%	25.1%	23.2%		

**分析** 「知っている」と回答した人が半数を超え、認知度が高まっている。

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
Q 4. 環境学習をしていますか	2.6 (n=819)	2.7 (n=736)	2.5 (n=728)	2.3 (n=468)	
Q 5. 自然を守る取り組みをしていますか	2.9 (n=818)	2.9 (n=736)	3.1 (n=728)	3.0 (n=468)	
Q 6. 節電や省エネの取り組みをしていますか	3.7 (n=820)	3.8 (n=737)	3.7 (n=728)	3.8 (n=468)	
Q 7. ごみ減量の取り組みをしていますか	3.8 (n=819)	3.9 (n=735)	3.7 (n=729)	3.6 (n=468)	

※数値は、5点満点での全体の平均値。( )は有効回答者数。

**分析** 節電や省エネ、ごみ減量に対する市民の取り組み度は高い。

#### Q 8. 今年実施した環境活動を教えてください

取組内容	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
電気をこまめに消した	523 人	493 人	507 人	344 人	
	67.1%	68.9%	70.8%	75.9%	
雑誌を集めた	456 人	415 人	425 人	280 人	
	58.5%	58.0%	59.4%	61.8%	
資源分別回収に参加した	452 人	419 人	360 人	265 人	
	58.0%	58.5%	50.3%	58.5%	
	(n=779)	(n=716)	(n=716)	(n=453)	

※複数回答可としているため、回答者数とその割合を記載。( )は有効回答者数。

**分析** 節電や資源分別など、生活に身近な取り組みを行う人が多い。

## ② 市民意識調査結果

- ・市（企画部）では、将来像の実現に向けた各政策の有効性を把握するとともに、市民の意識や行動等を多面的に把握するため、住民基本台帳登録者（満15歳以上）の中から無作為抽出した3,000人を対象に「市民意識調査」を実施しており、2021年度の調査結果（環境関係）は次のとおりでした。

※各設問のnは2021年度の有効回答者数を表しています。

※各選択肢の比率はすべて百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、すべての選択肢の比率の合計が100%とならない場合があります。

## Q. お住まいの周辺の環境は美しく保たれていると感じますか（n=1,384）

回答項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
感じる	20.5%	17.3%	18.9%	19.4%	
どちらかといえば感じる	50.1%	50.0%	51.9%	53.5%	
どちらともいえない	10.7%	12.6%	11.3%	10.5%	
どちらかといえば感じない	10.5%	11.7%	10.9%	9.2%	
感じない	8.2%	8.4%	7.0%	7.4%	

**分析** 「感じる」「どちらかといえば感じる」との回答が72.9%あり、市民の環境美化活動や環境保全活動などにより、美しいまちが保たれている。

## Q. 金華山や長良川などの自然の豊かなまちだと思いますか（n=1,389）

回答項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
思う	45.4%	45.6%	51.6%	47.4%	
どちらかといえば思う	45.6%	45.9%	41.1%	43.7%	
どちらともいえない	4.7%	4.2%	4.1%	4.8%	
どちらかといえば思わない	2.0%	2.6%	1.8%	1.9%	
思わない	2.3%	1.7%	1.4%	2.2%	

**分析** 「思う」「どちらかといえば思う」との回答が91.1%あり、多くの市民が自然の豊かなまちだと認識している。

## Q. 省エネやごみの減量などの環境に配慮したまちだと思いますか（n=1,384）

回答項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
思う	9.3%	8.2%	8.8%	8.3%	
どちらかといえば思う	34.8%	34.1%	34.9%	33.0%	
どちらともいえない	25.7%	26.1%	27.2%	27.8%	
どちらかといえば思わない	17.4%	18.2%	18.3%	17.3%	
思わない	12.9%	13.3%	10.8%	13.5%	

**分析** 「思う」「どちらかといえば思う」との回答が41.3%ある一方で、「どちらかといえば思わない」「思わない」との回答が30.8%ある。

## Q. まちなみや景観の美しいまちだと思いますか（n=1,384）

回答項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
思う	14.7%	14.6%	16.0%	16.8%	
どちらかといえば思う	43.1%	43.9%	45.7%	46.7%	
どちらともいえない	19.5%	19.9%	18.8%	17.1%	
どちらかといえば思わない	13.9%	11.9%	11.5%	11.1%	
思わない	8.9%	9.7%	8.0%	8.5%	

**分析** 「思う」「どちらかといえば思う」との回答が63.5%あり、比較的まちなみや景観の美しいまちだと認識されている。

### 3 施策別評価

- ・2021年度の達成状況評価は、「1点検・評価方法」に基づき、施策1「生活環境を快適にします」、施策3「生物多様性を保全します」、施策5「環境意識を高めます」を対象としました。
- ・点検・評価にあたっては、施策ごとに設定している指標の進捗結果や事業の取り組み状況について、関係各課からのヒアリングを実施しました。
- ・現況値の達成状況は、「達成」は◎、「近づく」は○、「中間・横ばい」（基準値と比較して±10%までの増減）は△、「遠ざかる」は×と評価しています。

#### 施策1 生活環境を快適にします

##### 1 大気環境の保全

< 指標総括 >

指標達成率 100%

指標	基準値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	達成状況 目標値と比較して ◎達成/○近づく/△中間・横ばい/×遠ざかる					
			2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
			1-1-1	大気汚染物質（NO <sub>2</sub> ）の環境基準達成率	100%	現状維持	◎ (100%)	◎ (100%)
1-1-2	微小粒子状物質（PM <sub>2.5</sub> ）の環境基準達成率	99%	現状維持	◎ (99%)	◎ (99%)	◎ (99%)	◎ (100%)	
1-1-3	一般大気に係るダイオキシン類の環境基準達成率	100%	現状維持	◎ (100%)	◎ (100%)	◎ (100%)	◎ (100%)	
1-1-4	空間放射線量率測定の実施率	100%	現状維持	◎ (100%)	◎ (100%)	◎ (100%)	◎ (100%)	
1-1-5	アスベスト除去現場への立入調査の実施率	100%	現状維持	◎ (100%)	◎ (100%)	◎ (100%)	◎ (100%)	

##### 2 水・土壌環境の保全

< 指標総括 >

指標達成率 60%

指標	基準値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	達成状況 目標値と比較して ◎達成/○近づく/△中間・横ばい/×遠ざかる					
			2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
			1-2-1	生物化学的酸素要求量（BOD）の環境基準達成率	100%	現状維持	◎ (100%)	◎ (100%)
1-2-2	岐阜市河川水質基準達成率	89.6%	100%	○ (89.8%)	△ (89.4%)	△ (89.2%)	△ (89.4%)	
1-2-3	排水基準適合率	94.1%	100%	△ (89.2%)	△ (85.1%)	◎ (100%)	△ (92.7%)	
1-2-4	地下水の概況調査における環境基準達成率	96.7%	100%	◎ (100%)	◎ (100%)	◎ (100%)	◎ (100%)	
1-2-5	水質・土壌に係るダイオキシン類の環境基準達成率	100%	現状維持	◎ (100%)	◎ (100%)	◎ (100%)	◎ (100%)	

##### 3 騒音・振動・悪臭の規制

< 指標総括 >

指標達成率 66%

指標	基準値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	達成状況 目標値と比較して ◎達成/○近づく/△中間・横ばい/×遠ざかる					
			2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
			1-3-1	騒音環境基準達成率（一般地域）	80%	100%	◎ (100%)	△ (83.3%)
1-3-2	騒音環境基準達成率（自動車騒音）	92.9%	95%	○ (93.1%)	○ (93.9%)	○ (94.1%)	○ (93.9%)	
1-3-3	騒音環境基準達成率（航空機騒音）	100%	現状維持	× (25%)	× (50%)	× (75%)	◎ (100%)	

## 4 環境美化の推進

&lt; 指標総括 &gt;

指標達成率 100%

指標	基準値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	達成状況 目標値と比較して ◎達成 / ○近づく / △中間・横ばい / ×遠ざかる				
			2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
1-4-1 岐阜版アダプト・プログラムの登録団体数	147団体	170団体	○ (151団体)	○ (152団体)	◎ (173団体)	◎ (178団体)	
1-4-2 市中心部におけるポイ捨てごみの総数	3,406個	減少	◎ (2,913個)	◎ (2,797個)	◎ (2,298個)	◎ (2,145個)	
1-4-3 路上喫煙禁止区域内でポイ捨てされたたばこの吸い殻の個数	1,565個	減少	◎ (1,228個)	◎ (1,007個)	◎ (710個)	◎ (685個)	

**評価部会からの意見**

- ◎ 天候や時刻等によって数値が変動することがあることを、環境白書のコラム等で記載してもらいたい。
- ◎ 事業場の稼働の状況や時間などを加味した上で、排水の検査を行うことを検討してもらいたい。
- ◎ 排水基準適合率が基準値及び2020年度の値を下回っている。理由はともかく、「汚染水で河川を汚さない」という原理・原則を崩してはならない。
- ◎ 東海環状自動車道ができることを見越して、事前に騒音に関するデータを収集しておいた方がいい。
- ◎ 航空機の騒音測定結果がたまたま良い悪いとならないように、測定方法を少し検討してもらいたい。

### <個別指標の達成度と関連事業>

#### 指標 1-1-1 大気汚染物質 (NO<sub>2</sub>) に係る環境基準達成率【評価：◎】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	
	100%	100%	現状維持	
指標の見方	一般環境大気測定局 3 測定局で環境基準を達成した日数／年間測定日数			
分析	大気汚染防止法に基づき、市内 3 測定局で監視を行った結果、全ての測定日において環境基準を達成し、達成率 100%を維持している。			

#### ◇NO<sub>2</sub> (二酸化窒素) の環境基準

1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること  
 ※ppm(ピーピーエム) : 「100 万分の 1」という割合を表す単位 (1ppm=0.0001%)

#### 【NO<sub>2</sub> (二酸化窒素) の環境基準達成率の推移】

測定局	達成日数／測定日数				
	2016 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
岐阜中央 (市役所八ツ寺別館)	365 日/365 日	365 日/365 日	366 日/366 日	365 日/365 日	<b>365 日/365 日</b>
岐阜南部 (あかね公園)	363 日/363 日	365 日/365 日	366 日/366 日	256 日/256 日	<b>364 日/364 日</b>
岐阜北部 (福光東公園)	340 日/340 日	354 日/354 日	364 日/364 日	365 日/365 日	<b>365 日/365 日</b>
達成率	100%	100%	100%	100%	<b>100%</b>

(参考) 2021 年度

NO <sub>2</sub> (ppm)	
1 日平均値 の最高値	年平均値
0.014	0.006
0.022	0.009
0.011	0.005
—	0.007 (3 局平均)

#### ◇大気汚染とは

工場での事業活動や自動車の使用などにより、いおう酸化物 (SO<sub>x</sub>) や窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>) などの大気汚染物質が大気中に排出されることで発生する。これらの大気汚染物質は、ぜん息や気管支炎の原因になるなど、呼吸器系に悪影響を与えるとされている。

#### ◇NO<sub>2</sub> (二酸化窒素) とは

自動車、工場・事業場、家庭等から発生する。

大部分が NO (一酸化窒素) として排出されるが、大気中で酸化されて NO<sub>2</sub> (二酸化窒素) になる。NO<sub>2</sub> は、高濃度で呼吸器に影響を及ぼすほか、酸性雨や光化学オキシダントの原因物質になると言われている。

指標 1-1-2 微小粒子状物質 (PM<sub>2.5</sub>) の環境基準達成率【評価：◎】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	
	99%	100%	現状維持	
指標の見方	一般環境大気測定局 3 測定局で環境基準を達成した日数/年間測定日数			
分析	大気汚染防止法に基づき、市内 3 測定局で監視を行った結果、 <u>環境基準</u> を達成した日数割合は 99%以上を維持しており、2021 年度は 100%であった。			

◇微小粒子状物質 (PM<sub>2.5</sub>) の環境基準  
 1 日平均値が **35 μg/m<sup>3</sup>**以下であること (かつ 1 年平均値が **15 μg/m<sup>3</sup>**以下であること)  
 ※ μg (マイクログラム): 重量の単位、μ (マイクロ) は「100 万分の 1」を意味する (1 μg=100 万分の 1 グラム)

【PM<sub>2.5</sub> (微小粒子状物質) の 1 日平均値の環境基準達成率の推移】

(参考) 2021 年度

測定局	達成日数/測定日数					PM <sub>2.5</sub> 1 日平均値 の最高値
	2016 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	
岐阜中央	362 日/362 日	350 日/351 日	354 日/354 日	352 日/353 日	<b>338 日/338 日</b>	22.0 μg/m <sup>3</sup>
岐阜南部	362 日/364 日	348 日/352 日	349 日/351 日	330 日/333 日	<b>298 日/298 日</b>	28.8 μg/m <sup>3</sup>
岐阜北部	359 日/362 日	349 日/351 日	354 日/354 日	352 日/353 日	<b>351 日/351 日</b>	29.1 μg/m <sup>3</sup>
達成率	99%	99%	99%	99%	<b>100%</b>	—

【(参考) PM<sub>2.5</sub> (微小粒子状物質) の年平均値の推移】

測定局	2016 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
岐阜中央	10.3 μg/m <sup>3</sup>	9.9 μg/m <sup>3</sup>	8.0 μg/m <sup>3</sup>	8.2 μg/m <sup>3</sup>	<b>6.8 μg/m<sup>3</sup></b>
岐阜南部	12.0 μg/m <sup>3</sup>	11.7 μg/m <sup>3</sup>	10.5 μg/m <sup>3</sup>	9.9 μg/m <sup>3</sup>	<b>8.8 μg/m<sup>3</sup></b>
岐阜北部	13.0 μg/m <sup>3</sup>	11.2 μg/m <sup>3</sup>	9.3 μg/m <sup>3</sup>	10.2 μg/m <sup>3</sup>	<b>7.4 μg/m<sup>3</sup></b>
3 局平均値	11.8 μg/m <sup>3</sup>	10.9 μg/m <sup>3</sup>	9.3 μg/m <sup>3</sup>	9.4 μg/m <sup>3</sup>	<b>7.7 μg/m<sup>3</sup></b>

◇微小粒子状物質 (PM<sub>2.5</sub>) とは

大気中に浮遊する粒子状物質であって、その粒径が 2.5 μm 以下の小さな粒子のこと。  
 非常に小さいため、肺の奥まで入りやすく、呼吸器系や循環器系への影響が懸念されている。

## 指標 1-1-3 一般大気に係るダイオキシン類の環境基準達成率【評価：◎】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	
	100%	100%	現状維持	
指標の見方	環境基準を達成した測定局数／全測定局数			
分析	ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、市内2測定局で測定を行った結果、全測定局で環境基準を達成し、達成率100%を維持している。			

## ◇一般環境大気におけるダイオキシン類の環境基準

年間平均値が  $0.6\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$  以下であること

※pg (ピコグラム):非常に微量の重さを表す単位 (1pg=1兆分の1グラム)

※TEQ (テイクエー):「ダイオキシン類」の濃度(毒性の強さ)を表示する際に用いられる記号

## 【ダイオキシン類(大気)の年間平均値の推移】

測定局	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
岐阜中央	$0.034\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$	$0.014\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$	$0.015\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$	$0.011\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$	$0.016\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$
岐阜北部	$0.013\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$	$0.012\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$	$0.012\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$	$0.0092\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$	$0.011\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$
2局平均値	$0.023\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$	$0.013\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$	$0.014\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$	$0.010\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$	$0.014\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$

## ◇ダイオキシン類とは

ポリ塩化ジベンゾ-パラジオキシン(PCDD)、ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)、コプラナーポリ塩化ビフェニル(コプラナーPCB)を指し、200数十種類のうち29種類に毒性があるとされる。

主な発生源は、ごみ焼却による燃焼だが、その他に、金属の精錬など様々な発生源がある。

指標 1-1-4 空間放射線量率測定の実施率【評価：◎】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	
	100%	100%	現状維持	
指標の見方	調査地点において週1回実施			
分析	平常時の放射線モニタリングのため、大気中の空間放射線量率の測定を、市役所にて週1回実施し、実施率は100%を維持している。			

【空間放射線量率の測定結果の推移】

区分	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
調査地点	岐阜市役所	岐阜市役所	岐阜市役所	岐阜市役所	岐阜市役所
月平均最低値	0.074 $\mu$ Sv/h	0.074 $\mu$ Sv/h	0.074 $\mu$ Sv/h	0.073 $\mu$ Sv/h	0.054 $\mu$ Sv/h
月平均最高値	0.084 $\mu$ Sv/h	0.085 $\mu$ Sv/h	0.082 $\mu$ Sv/h	0.084 $\mu$ Sv/h	0.080 $\mu$ Sv/h
年間平均値	0.078 $\mu$ Sv/h	0.079 $\mu$ Sv/h	0.078 $\mu$ Sv/h	0.078 $\mu$ Sv/h	0.060 $\mu$ Sv/h

◇測定について

- ・測定時期：週1回、午前10時頃
- ・測定場所：岐阜市役所庁舎
- ・測定機器：NaI(Tl)シンチレーションサーベイメータ
- ・測定対象：地上高1mの空間放射線量率

◇指標値（放射線量が高いと判断する値）：

各地点の過去の測定値の平均値 + (5 × 標準偏差)  $\mu$ Sv/h

※データが平均値の周辺でどれくらいばらついているかを表す

※  $\mu$ Sv/h (マイクロシーベルト毎時)：1時間に吸収する放射線量

## 指標 1-1-5 アスベスト除去現場への立入調査の実施率【評価：◎】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	
	100%	100%	現状維持	
指標の見方	特定粉じん排出等作業現場への立入調査を実施			
分析	アスベストの飛散を防止するため、特定粉じん排出等作業現場への立入調査を実施し、実施率は100%を維持している。			

## 【アスベスト除去現場への立入調査件数の推移】

区分	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
隔離養生が必要な現場数	10件	7件	7件	9件	10件
立入調査の実施数	10件	7件	7件	9件	10件
立入調査の実施率	100%	100%	100%	100%	100%



## ◇特定粉じんとは

「粉じん」は、物の破碎やたい積に伴い発生し、又は飛散する物質のこと。このうち、大気汚染防止法では、人の健康に被害を生ずる恐れがある物質を「特定粉じん」として定めており、現在、石綿（アスベスト）が指定されている。

## ◇特定粉じん排出等作業とは

石綿（アスベスト）を含む建築建材が使用されている建築物や工作物の解体・改造・補修を行う作業のこと。

## ◇石綿（アスベスト）とは

天然に産する繊維状けい酸塩鉱物で「せきめん」「いしわた」と呼ばれる。そこにあること自体が直ちに問題なのではなく、飛び散ること、吸い込むことが問題となるため、労働安全衛生法や大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律などで予防や飛散防止等が図られている。

指標 1-2-1 生物化学的酸素要求量 (BOD) の環境基準達成率【評価：◎】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	
	100%	100%	現状維持	
指標の見方	環境基準達成地点数／環境基準点数 (8地点)			
分析	市内の環境基準点 (8地点) で調査した結果、全ての地点で環境基準を達成し、達成率は100%を維持している。			

◇生物化学的酸素要求量 (BOD) の環境基準

<利用目的に応じた水域類型(河川)>

※該当する類型のみ表示

類型	利用目的の適応性	生物化学的酸素要求量(BOD)
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの	2 mg/L 以下
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの	3 mg/L 以下
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの	5 mg/L 以下

水道2級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの  
 水道3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの  
 水産1級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用  
 水産2級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用  
 水産3級：コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用

【環境基準点における調査結果の推移】

環境基準点	類型	基準値 (BOD)	調査結果				
			2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
1 長良川中流 (藍川橋)	A	2 mg/L 以下	0.9 mg/L	0.6 mg/L	0.5 mg/L	0.6 mg/L	0.5 mg/L
2 長良川下流 (長良大橋)	A	2 mg/L 以下	0.8 mg/L	0.8 mg/L	0.6 mg/L	0.8 mg/L	0.7 mg/L
3 伊自良川上流 (繰舟橋)	A	2 mg/L 以下	1.0 mg/L	0.9 mg/L	0.7 mg/L	0.9 mg/L	0.9 mg/L
4 伊自良川下流 (竹橋)	C	5 mg/L 以下	2.2 mg/L	2.0 mg/L	1.9 mg/L	1.3 mg/L	1.9 mg/L
5 境川上流 (東辰新橋)	C	5 mg/L 以下	2.1 mg/L	1.2 mg/L	1.4 mg/L	1.3 mg/L	1.4 mg/L
6 境川下流 (境川橋)	C	5 mg/L 以下	2.0 mg/L	3.2 mg/L	3.6 mg/L	2.1 mg/L	1.9 mg/L
7 荒田川 (出村)	B	3 mg/L 以下	1.2 mg/L	1.2 mg/L	1.5 mg/L	0.7 mg/L	1.5 mg/L
8 鳥羽川 (伊自良川合流前)	B	3 mg/L 以下	1.1 mg/L	0.8 mg/L	0.9 mg/L	0.7 mg/L	0.7 mg/L

◇BOD (Biochemical Oxygen Demand : 生物化学的酸素要求量) とは

水の汚れを表す指標で、微生物 (好気性バクテリア) が、水中の有機物を酸化分解するのに必要な酸素の量のこと。この数値が大きいほど水は汚れていることになる。

## 指標 1-2-2 岐阜市河川水質基準達成率【評価：△】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	
	89.6%	89.4%	100%	
指標の見方	環境基準点(8地点)における、各類型の基準値達成検体数/年間の検体数(検体延べ件数)			
分析	生活環境の5項目について、市内の環境基準点(8地点)におけるすべての検査に対し、 <u>環境基準</u> の達成状況を確認した結果、約90%を維持している。			

## ◇類型ごとの基準値(生活環境5項目)

※該当する類型のみ表示

類型	基準値				
	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数
A	6.5以上	2 mg/L以下	25 mg/L以下	7.5 mg/L以上	1,000 MPN/100mL以下
B		3 mg/L以下		5 mg/L以上	5,000 MPN/100mL以下
C	8.5以下	5 mg/L以下	50 mg/L以下	—	—

## 【環境基準点における調査結果の推移】

環境基準点		類型	基準値達成検体数/年間の検体数				達成率
			2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
1	長良川中流(藍川橋)	A	50/60	52/60	51/60	<b>52/60</b>	<b>86.7%</b>
2	長良川下流(長良大橋)	A	50/60	49/60	53/60	<b>50/60</b>	<b>83.3%</b>
3	伊自良川上流(繰舟橋)	A	47/60	45/60	45/60	<b>48/60</b>	<b>80.0%</b>
4	伊自良川下流(竹橋)	C	96/96	96/96	48/48	<b>48/48</b>	<b>100%</b>
5	境川上流(東辰新橋)	C	48/48	48/48	48/48	<b>48/48</b>	<b>100%</b>
6	境川下流(境川橋)	C	48/48	48/48	47/48	<b>47/48</b>	<b>97.9%</b>
7	荒田川(出村)	B	49/60	48/60	49/60	<b>50/60</b>	<b>83.3%</b>
8	鳥羽川(伊自良川合流前)	B	54/60	54/60	55/60	<b>54/60</b>	<b>90.0%</b>
8地点合計の達成率			(442/492) 89.8%	(440/492) 89.4%	(396/444) 89.2%	<b>(397/444)</b>	<b>89.4%</b>

## ◇水素イオン濃度(pH)とは

水の酸性、アルカリ性の度合いを示す指標。pH7が中性、pH7より小さければ酸性、pH7より大きければアルカリ性。

## ◇浮遊物質(SS)とは

水中に浮遊する直径2mm以下の粒子状物質の量のこと。浮遊物質が多いと、透明度が下がるほか、魚類のえらがつまって死んだり、光の透過が妨げられて水中の植物の光合成に影響し発育を阻害することがある。

## ◇溶存酸素量(DO)とは

大気から水に溶け込んでいる酸素(O<sub>2</sub>)の量のこと。溶存酸素量が高いほど、水質は良好とされる。低くなると、水生生物に悪影響を及ぼすことがある。

## ◇大腸菌群数とは

大腸菌及び大腸菌と性質が似ている細菌の数のことをいい、水中の大腸菌群数は、糞便汚染の指標として使われている。

指標 1-2-3 排水基準適合率【評価：△】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	
	94.1%	92.7%	100%	
指標の見方	排水基準の適合事業場数／排水基準適用事業場数			
分析	届出のある事業場を対象に排水検査を実施した結果、排水基準適合率は90%前後で推移しているが、2021年度は基準値を下回っており、引き続き指導を行っていく。			

【排水基準適合率の推移】

区分	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
排水検査数	68件	65件	67件	66件	55件
適合事業場数	64件	58件	57件	66件	51件
適合率	94.1%	89.2%	85.1%	100%	92.7%



◇届出・調査

水質汚濁のおそれが高い汚水が発生する工場・事業場（特定事業場）には、法及び県条例に基づく施設の届出が義務付けられている。定期的に事業場に立入検査を実施し、届出内容の確認、排水処理状況、排水基準の遵守状況を調査している。

◇排水基準とは

水質汚濁防止法では、特定事業場から公共用水域に排出される全ての排水について、汚濁物質の種類ごとに排水基準が定められており、排出者はこの基準を守らなければならない。（生活環境項目については1日当たりの平均的な排水の量が50m<sup>3</sup>以上の場合のみ適用）

項目	基準値(許容限度)	項目	基準値(許容限度)
生活環境項目		水銀 <sup>※1</sup>	0.005mg/L
水素イオン濃度(水素指数, pH)	5.8以上8.6以下	アルキル水銀化合物	検出されないこと
生物学的酸素要求量(BOD)	160(日間平均120)mg/L	PCB(ポリ塩化ビフェニル)	0.003mg/L
化学的酸素要求量(COD)	160(日間平均120)mg/L	ジクロロメタン	0.2mg/L
浮遊物質(SS)	200(日間平均150)mg/L	四塩化炭素	0.02mg/L
ノルマルヘキサン抽出物質(鉱油類)	5mg/L	1,2-ジクロロエタン	0.04mg/L
ノルマルヘキサン抽出物質(動植物油脂類)	30mg/L	1,1-ジクロロエチレン	1mg/L
フェノール類	5mg/L	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4mg/L
銅	3mg/L	1,1,1-トリクロロエタン	3mg/L
亜鉛	2mg/L	1,1,2-トリクロロエタン	0.06mg/L
溶解性鉄	10mg/L	トリクロロエチレン	0.1mg/L
溶解性マンガン	10mg/L	テトラクロロエチレン	0.1mg/L
クロム	2mg/L	1,3-ジクロロプロペン	0.02mg/L
大腸菌群数	日間平均3,000個/cm <sup>3</sup>	チウラム	0.06mg/L
窒素	120(日間平均60)mg/L	シマジン	0.03mg/L
リン	16(日間平均8)mg/L	チオベンカルブ	0.2mg/L
有害物質		ベンゼン	0.1mg/L
カドミウム <sup>※1</sup>	0.03mg/L	セレン <sup>※1</sup>	0.1mg/L
シアン化合物	1mg/L	ふっ素 <sup>※1</sup>	8mg/L
鉛 <sup>※1</sup>	0.1mg/L	ほう素 <sup>※1</sup>	10mg/L
六価クロム化合物	0.5mg/L	1,4-ジオキサン	0.5mg/L
ヒ素 <sup>※1</sup>	0.1mg/L	有機リン化合物 <sup>※2</sup>	1mg/L
		アンモニア, アンモニウム化合物, 亜硝酸化合物及び硝酸化合物 <sup>※3</sup>	100mg/L

※1 その化合物を含む

※2 パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及びEPNに限る

※3 アンモニア性窒素は測定値に0.4を乗じて計算する

指標 1-2-4 地下水の概況調査における環境基準達成率【評価：◎】

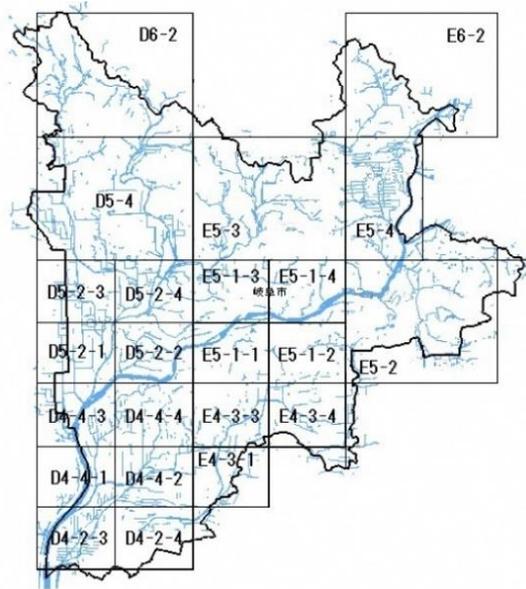
指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	
	96.7%	100%	100%	
指標の見方	環境基準達成地点数／調査地点数			
分析	市内の調査地点において調査項目（28項目）を調査した結果、全ての地点において環境基準を達成し、達成率100%を維持している。			

【調査地点】

市内を2.5～5.0km間隔で区分し、それぞれの区域で1井戸を選定。年1回地点を変えて調査を実施している。2021年度は、調査区域を30区域から23区域に見直し、以下の23地点で調査を実施。全ての地点で環境基準を達成した。

区域	地点
1	D4-2-3 茶屋新田3丁目
2	D4-2-4 柳津町北塚3丁目
3	D4-4-1 次木
4	D4-4-2 藪田南4丁目
5	D4-4-3 大菅南
6	D4-4-4 鏡島中2丁目
7	D5-2-1 曾我屋2丁目
8	D5-2-2 日光町7丁目
9	D5-2-3 下西郷4丁目
10	D5-2-4 黒野南4丁目
11	D5-4 大学西2丁目
12	D6-2 岩利

区域	地点
13	E4-3-1 茜部菱野4丁目
14	E4-3-3 加納西丸町1丁目
15	E4-3-4 石長町3丁目
16	E5-1-1 司町
17	E5-1-2 日野西3丁目
18	E5-1-3 城田寺
19	E5-1-4 雄総緑町3丁目
20	E5-2 岩田西3丁目
21	E5-3 岩崎
22	E5-4 門屋字野崎
23	E6-2 山県岩北野



(調査区域図)

【調査項目及び環境基準】

地下水の水質汚濁に係る環境基準

項目	基準値
カドミウム	0.003mg/L以下
全シアン	検出されないこと
鉛	0.01mg/L以下
六価クロム	0.02mg/L以下
ヒ素	0.01mg/L以下
総水銀	0.0005mg/L以下
アルキル水銀	検出されないこと
PCB (ポリ塩化ビフェニル)	検出されないこと
ジクロロメタン	0.02mg/L以下
四塩化炭素	0.002mg/L以下
クロロエチレン	0.002mg/L以下
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下
1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下

項目	基準値
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下
トリクロロエチレン	0.01mg/L以下
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下
1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L以下
チウラム	0.006mg/L以下
シマジン	0.003mg/L以下
チオベンカルブ	0.02mg/L以下
ベンゼン	0.01mg/L以下
セレン	0.01mg/L以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/L以下
ふっ素	0.8mg/L以下
ほう素	1mg/L以下
1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下

指標 1-2-5 水質・土壌に係るダイオキシン類の環境基準達成率【評価：◎】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	
	100%	100%	現状維持	
指標の見方	環境基準達成地点数／調査地点数			
分析	河川4地点、地下水3地点、土壌8地点で調査を実施した結果、全ての地点で環境基準を達成し、達成率100%を維持している。			

◇水質・土壌におけるダイオキシン類の環境基準

- ・水質(水底の底質を除く) : 1pg-TEQ/L 以下 (年間平均値)
- ・水底の底質 : 150pg-TEQ/g 以下
- ・土壌 : 1,000pg-TEQ/g 以下

※pg (ピコグラム): 非常に微量の重さを表す単位 (1pg=1兆分の1グラム)

※TEQ (ティーイキュー): 「ダイオキシン類」の濃度(毒性の強さ)を表示する際に用いられる記号

【ダイオキシン類(河川水)の調査結果の推移】

調査地点	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
長良川 長良橋	0.12 pg-TEQ/L	0.091 pg-TEQ/L	0.083 pg-TEQ/L	0.082 pg-TEQ/L	0.075 pg-TEQ/L
鳥羽川 正城橋	0.40 pg-TEQ/L	0.28 pg-TEQ/L	0.24 pg-TEQ/L	0.33 pg-TEQ/L	0.32 pg-TEQ/L
境川 境川橋	0.44 pg-TEQ/L	0.38 pg-TEQ/L	0.37 pg-TEQ/L	0.30 pg-TEQ/L	0.37 pg-TEQ/L
荒田川 水門橋	0.83 pg-TEQ/L	0.52 pg-TEQ/L	0.85 pg-TEQ/L	0.29 pg-TEQ/L	0.75 pg-TEQ/L

【ダイオキシン類(河川底質)の調査結果の推移】

調査地点	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
長良川 長良橋	0.3 pg-TEQ/g	0.15 pg-TEQ/g	0.36 pg-TEQ/g	0.17 pg-TEQ/g	0.17 pg-TEQ/g
鳥羽川 正城橋	9.3 pg-TEQ/g	5.7 pg-TEQ/g	3.5 pg-TEQ/g	3.5 pg-TEQ/g	7.8 pg-TEQ/g
境川 境川橋	1.3 pg-TEQ/g	0.69 pg-TEQ/g	0.57 pg-TEQ/g	0.5 pg-TEQ/g	1.2 pg-TEQ/g
荒田川 水門橋	9.1 pg-TEQ/g	2.6 pg-TEQ/g	2.8 pg-TEQ/g	3.3 pg-TEQ/g	18 pg-TEQ/g

【ダイオキシン類(地下水)の調査結果(2021年度)】

調査地点	濃度
公共施設(秋沢)	0.014 pg-TEQ/L
民間事業所(黒野)	0.014 pg-TEQ/L
個人宅(岩滝西)	0.015 pg-TEQ/L

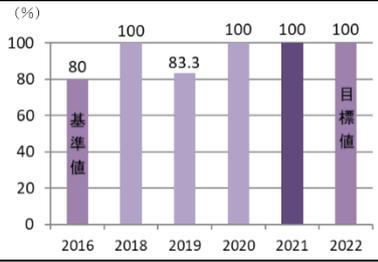
※毎年度3地点で調査を実施(調査地点は同一ではない)

【ダイオキシン類(土壌)の調査結果(2021年度)】

調査地点	区分	濃度	調査地点	区分	濃度
岩利広場	一般環境	0.0023 pg-TEQ/g	宮上公園	発生源周辺	0.040 pg-TEQ/g
東木田公園	一般環境	0.68 pg-TEQ/g	丸野公園	発生源周辺	0.020 pg-TEQ/g
八坂公園	一般環境	0.39 pg-TEQ/g	宮東公園	発生源周辺	0.035 pg-TEQ/g
鶉緑地	発生源周辺	0.0021 pg-TEQ/g	茜部公園	発生源周辺	0.22 pg-TEQ/g

※毎年度8地点で調査を実施(調査地点は同一ではない)

## 指標 1-3-1 騒音環境基準達成率（一般地域）【評価：◎】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	
	80%	100%	100%	
指標の見方	達成地点数／調査地点数			
分析	一般地域の調査地点において調査を行った結果、昼間・夜間ともに騒音に係る環境基準を達成し、100%を維持している。			

## ◇騒音に係る環境基準（一般地域）

類型	該当地域	区域の区分	昼間	夜間
A	専ら住居の用に供される地域	第1種区域、第2種区域のうち都市計画法に定める用途地域が第1種中高層住居専用地域又は第2種中高層住居専用地域	55 dB 以下	45 dB 以下
B	主として住居の用に供される地域	第2種区域 (A類型に該当する地域を除く)		
C	相当数の住居と併せて商業、工業等の用に供される地域	第3種区域、第4種区域	60 dB 以下	50 dB 以下

※dB (デシベル) : 騒音の大きさを表すときに用いる単位

## 【騒音の調査結果（2021年度）】

測定地点	用途地域	類型	測定結果 (基準適否)	
			昼間 (6時～22時)	夜間 (22時～6時)
天池1丁目	第1種中高層住居専用地域	A	43 dB (適)	43 dB (適)
岩崎	第2種中高層住居専用地域	A	45 dB (適)	35 dB (適)
南蟬1丁目	第2種中高層住居専用地域	A	43 dB (適)	34 dB (適)
且島7丁目	第2種中高層住居専用地域	A	45 dB (適)	37 dB (適)
日野北1丁目	第1種住居地域	B	47 dB (適)	42 dB (適)
茜部菱野	第2種住居地域	B	47 dB (適)	39 dB (適)
宇佐南4丁目	準工業地域	C	52 dB (適)	47 dB (適)

※毎年度、類型 A/B/C 各 1 地点以上、計 5～7 地点で調査を実施（調査地点は同一ではない）

## 【達成状況の推移】

区分	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
調査地点数	5	5	6	6	7
環境基準達成地点数	4	5	5	6	7
達成率	80%	100%	83.3%	100%	100%

指標 1-3-2 騒音環境基準達成率（自動車騒音）【評価：○】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	
	92.9%	93.9%	95%	
指標の見方	達成戸数／調査路線沿線の全戸数			
分析	道路に面する地域の評価対象（41 路線）の調査及び評価を実施。2021 年度は、7 路線において調査を行い、過去 5 年間で調査した 41 路線全体を評価した結果、環境基準達成率は約 94%を維持している。			

【道路に面する地域における環境基準達成状況（2021 年度）】

路線名 (調査単位区間番号)	評価区間	対象住居 等戸数	昼夜間 達成戸数	達成率
一般国道 21 号 (10440)	1.7 km	139 戸	108 戸	77.7%
一般国道 21 号 (10460)	1.1 km	73 戸	60 戸	82.2%
一般国道 256 号 (11820)	4.1 km	773 戸	762 戸	98.6%
岐阜関ヶ原線 (40720)	2.9 km	202 戸	193 戸	95.5%
岐阜大野線 (41380)	4.2 km	1,492 戸	1,486 戸	99.6%
岐阜巣南大野線 (41690)	3.7 km	979 戸	935 戸	95.5%
上白金真砂線 (61310)	4.8 km	126 戸	126 戸	100%
<b>41 路線合計※1</b>	<b>110.3 km</b>	<b>16,379 戸</b>	<b>15,381 戸</b>	<b>93.9%</b>



※1 2021 年度を含め直近 5 年間の調査結果を集計して評価

※毎年度、41 路線のうち 7～10 路線で調査を実施

【達成状況の推移】

区分	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
評価対象 (41 路線合計) の達成率	92.9%	92.5%	93.1%	93.9%	94.1%	<b>93.9%</b>
当該年度の調査路線数	5 路線	9 路線	10 路線	10 路線	7 路線	7 路線
当該年度の達成率	98.4%	92.1%	89.9%	93.7%	95.5%	97.0%

指標 1-3-3 騒音環境基準達成率（航空機騒音）【評価：◎】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	
	100%	100%	現状維持	
指標の見方	達成地点数／調査地点数			
分析	航空機騒音の地域類型指定を受ける市南東部の4地点で観測調査を実施した結果、全ての地点で環境基準を達成し、達成率は回復傾向にある。			

◇環境基準の地域類型指定（航空自衛隊岐阜基地周辺の地域）

類型	区域の区分（都市計画法に定める用途地域）	基準値
I	指定区域のうち、第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域	57 dB 以下
II	指定区域のうち、I 類型以外の地域（ただし、工業専用地域、航空自衛隊岐阜基地の敷地、河川法に基づく河川区域を除く）	62 dB 以下

【航空機騒音に係る調査結果（2021年度）】

類型	測定地点	測定結果		
		春	秋	平均値
I	①前一色1丁目	54 dB (適)	55 dB (適)	55 dB (適)
II	②高田5丁目	58 dB (適)	60 dB (適)	59 dB (適)
II	③水海道1丁目	52 dB (適)	57 dB (適)	55 dB (適)
II	④岩地4丁目	54 dB (適)	57 dB (適)	56 dB (適)



※春季と秋季に航空機騒音を7日間（24時間/日）測定

※算術平均ではなくパワー平均のため一般的な平均値とは異なる値になる

【航空機騒音に係る調査結果の推移】

類型	測定地点	測定結果（平均値）			
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
I	①前一色1丁目	58 dB (否)	59 dB (否)	56 dB (適)	55 dB (適)
II	②高田5丁目	63 dB (否)	64 dB (否)	63 dB (否)	59 dB (適)
II	③水海道1丁目	63 dB (否)	57 dB (適)	56 dB (適)	55 dB (適)
II	④岩地4丁目	59 dB (適)	59 dB (適)	58 dB (適)	56 dB (適)

【達成状況の推移】

区分	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
調査地点数	4	4	4	4	4
環境基準達成地点数	4	1	2	3	4
達成率	100%	25%	50%	75%	100%

指標 1-4-1 岐阜版アダプト・プログラムの登録団体数【評価：◎】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	(団体) 
	147 団体	178 団体	170 団体	
指標の見方	岐阜版アダプト・プログラム“ぎふまち育て隊”の登録団体数			
分析	美化活動に取り組む市民団体は増加傾向にあり、2020年度以降は目標値を達成しているが、今後も維持・増加を目指す。			

【岐阜版アダプト・プログラム“ぎふまち育て隊”の登録団体数の推移】

区分	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
<b>一般型</b> 公共空間での清掃活動	124 団体	131 団体	132 団体	154 団体	<b>159 団体</b>
<b>創造型</b> 維持管理までを念頭に置き、企画段階から市民が参画し、活動するもの	18 団体	15 団体	15 団体	14 団体	<b>14 団体</b>
<b>文化財型</b> 民有地内にある、まちのシンボリックな文化財などの美化活動を対象としたもの	1 団体	1 団体	1 団体	1 団体	<b>1 団体</b>
<b>環境保全型</b> 環境保全を念頭に置いた、美化・整備活動	4 団体	4 団体	4 団体	4 団体	<b>4 団体</b>
合計	147 団体	151 団体	152 団体	173 団体	<b>178 団体</b>

◇岐阜版アダプト・プログラム“ぎふまち育て隊”とは

アダプトとは「養子縁組をする」という意味で、公共空間を住民の皆さんが養子のように愛情をもって面倒をみる、ということ。  
 継続的に公共空間の美化活動を進めるため、活動団体と行政が覚書を結び、活動団体名を記載したサインボードを行政が設置する。  
 活動地域にサインボードを設置することで、その地域のポイ捨ての減少が期待でき、活動団体のステータス（誇り）にもなる。



(サインボード)

指標 1-4-2 市中心部におけるポイ捨てごみの総数【評価：◎】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	(個) 4,000 3,000 2,000 1,000 0 
	3,406 個	2,145 個	減少	
指標の見方	ポイ捨てごみ定点観測調査によるポイ捨てごみの総数			
分析	年4回の調査の結果、ポイ捨てごみの総数は減少傾向にあり、市民の意識向上が認められる。			

【ポイ捨てごみの総数の推移】

調査内容	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
ポイ捨てごみ(総数)	3,406 個	2,913 個	2,797 個	2,298 個	2,145 個

◇ポイ捨てごみ定点観測調査とは

市中心部（市役所・ぎふメディアコスモス周辺～JR 岐阜駅の路上喫煙禁止区域内 17 区間及び区域外 5 区間の計 22 区間）において、年 4 回ポイ捨てごみ全般を拾い集め、区間ごとにごみの種類（たばこの吸い殻、たばこの箱・フィルム、ビン・カン・ペットボトル、紙くず、プラスチックくず、その他の 6 種類）に分けて集計。

◇路上喫煙禁止区域

「岐阜市まちを美しくする条例」に基づき、2008 年度から路上喫煙禁止区域を指定し、指定喫煙場所を除き、路上喫煙を禁止している。区域内は、路上喫煙防止指導員によるパトロールを実施している。

指定区域	指定日	効力発生日
JR 岐阜駅周辺、長良橋通り、玉宮通り、柳ヶ瀬及び市役所（旧本・南庁舎）周辺	2008 年 8 月 22 日	2008 年 10 月 1 日 (2009 年 1 月 1 日から過料徴収開始)
金華山の 10 の登山道、岐阜公園の一部、川原町界限	2011 年 3 月 1 日	2011 年 9 月 1 日 (同日から過料徴収開始)
みんなの森 めぐメディアコスモス周辺	2015 年 2 月 12 日	2015 年 8 月 1 日 (同日から過料徴収開始)
JR 岐阜駅東区域	2018 年 11 月 15 日	2019 年 3 月 1 日 (同日から過料徴収開始)
市役所新庁舎及びみんなの森 めぐメディアコスモス敷地内	2021 年 3 月 2 日 (指定の解除)	(健康増進法による喫煙禁止の対象となるため、市役所新庁舎の開庁に合わせ、2021 年 5 月 6 日から禁止区域の指定を解除)

※2022 年 3 月末現在



(市中心部の路上喫煙禁止区域)

**指標 1-4-3 路上喫煙禁止区域内でポイ捨てされたたばこの吸い殻の個数【評価：◎】**

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	(個) 
	1,565 個	685 個	減少	
指標の見方	ポイ捨てごみ定点観測調査による路上喫煙禁止区域内でポイ捨てされたたばこの吸い殻の個数			
分析	年4回の調査の結果、路上喫煙禁止区域内でポイ捨てされたたばこの吸い殻の数は減少傾向にあり、市の取り組みによる周知の効果や市民の意識向上が認められる。			

**【路上喫煙禁止区域内でポイ捨てされたたばこの吸い殻の推移】**

調査内容	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
ポイ捨てされたたばこの吸い殻 (個数)	1,565 個	1,228 個	1,007 個	710 個	<b>685 個</b>

## 施策3 生物多様性を保全します

### 1 生物多様性の保全

<指標総括>

指標達成率 50%

指標	基準値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	達成状況 目標値と比較して ◎達成/○近づく/△中間・横ばい/×遠ざかる				
			2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
3-1 生物多様性の認知度	40.1%	50%	△ (35.3%)	△ (37.5%)	○ (48.3%)	◎ (55.9%)	
3-2 生物多様性シンポジウムの開催回数	2回/年度	維持	× (1回/年度)	◎ (2回/年度)	× (0回/年度)	× (1回/年度)	
3-3 自然環境保全活動団体数	11団体	増加	△ (11団体)	△ (11団体)	△ (11団体)	△ (11団体)	
3-4 多自然川づくりにより整備された河川の延長	3,234m	3,550m	○ (3,402m)	○ (3,459m)	◎ (3,574m)	◎ (3,698m)	

#### 評価部会からの意見

- ◎ 生物多様性の認知度を調査する際、どのように知ったのか等も聞くことで、それに合わせた対策が取れるので、アンケート内容を検討してほしい。
- ◎ 生物多様性の認知度は高いが、講演回数は少なく、関連付けの工夫が必要である。
- ◎ 多自然川づくりによる整備の効果を、環境白書等で記載していただきたい。

< 個別指標の達成度と関連事業 >

### 指標 3-1 生物多様性の認知度【評価：◎】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)
		40.1%	55.9%
指標の見方	環境に関するアンケート調査による認知度		
分析	生物多様性の認知度は、2018年度以降は年々上昇しており、2021年度は目標値を達成した。今後も維持・向上を目指し、取り組みを推進する。		

年度	認知率 (%)
2016	40.1
2018	35.3
2019	37.5
2020	48.3
2021	55.9
2022	50

#### 【生物多様性の認知度の推移】(環境に関するアンケート調査結果)

回答項目	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
(生物多様性の言葉の意味を) 知っている	40.1%	35.3%	37.5%	48.3%	<b>55.9%</b> (261人)
(生物多様性の) 名前は知っている	27.0%	32.8%	37.2%	27.3%	<b>29.3%</b> (137人)
(生物多様性の言葉の意味を) 知らない	32.9%	31.9%	25.3%	24.3%	<b>14.8%</b> (69人)
回答者数 (n)	784人	816人	720人	724人	467人

#### ◇環境に関するアンケート調査

毎年度、みんなの森 ぎふメディアコスモス来館者及び岐阜市エコフェスタ来場者を対象とした環境に関するアンケート調査を実施。なお、「岐阜市エコフェスタ」は2020年度で終了したため、2021年度はみんなの森 ぎふメディアコスモス来館者のみを調査対象とした。

#### 【アンケートの質問形式】

Q. 地球上の様々な場所で、様々な環境に適応したたくさんの生きものが暮らしていることを「生物多様性」と言いますが、知っていましたか？

知っている       名前は知っている       知らない

## 指標 3-2 生物多様性シンポジウムの開催回数【評価：×】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	
	2回/年度	1回/年度	維持	
指標の見方	生物多様性シンポジウムの開催回数			
分析	生物多様性への理解を深め、保全の意義や重要性を市民とともに考えるため、生物多様性シンポジウムを開催しているが、2020年度以降は新型コロナウイルス感染症対策の影響で、回数が減少している。			

(※2018年度は台風接近のため1回中止)

## 【岐阜市生物多様性シンポジウム開催内容（2021年度）】

日時：2021年11月13日(土) 14時～15時30分

場所：みんなの森 ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ

内容：「ミツバチが育む生物多様性」と題し、講演とトークセッションを実施

- 講演1「ミツバチが育む生物多様性～蜂との時間が教えてくれたこと～」  
(特定非営利活動法人さとはち 副理事長 安藤 美咲氏)
- 講演2「ミツバチが育む生物多様性」  
(公益財団法人みつばちの家 理事長 中村 源次郎氏)
- トークセッション  
(中村 源次郎氏、安藤 美咲氏、コーディネーター 野村 典博氏)



指標 3-3 自然環境保全活動団体数【評価：△】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	
	11 団体	11 団体	増加	
指標の見方	岐阜市自然環境の保全に関する条例第 21 条による承認団体数			
分析	自然環境保全活動団体は、11 団体から変動はない。今後も継続的な団体への支援とともに、団体の活動内容の紹介など啓発に努める。			

【自然環境保全活動団体】（岐阜市自然環境の保全に関する条例第 21 条の規定により承認された団体）

No.	団体名	活動内容
1	達目洞自然の会	達目洞の逆川に生育するヒメコウホネをシンボルとして、達目洞の自然環境保全を行う
2	十時会	金華山の保全、登山道整備、森林パトロール、清掃活動などを行う
3	金華山サポーターズ	金華山の保全、調査研究、環境学習を実施し、金華山を後世に伝えるとともに、様々な機関、団体との連携を図る
4	ボランティア「風と土の会」	環境教育、竹林整備、竹炭づくりなどを行い、自然と人が共生できる循環型社会づくりなどに寄与する
5	NPO 法人 んふし森守クラブ	森林の重要性を認識するとともに、森林の整備、保全、ふれあい活動などを通して豊かな環境づくりを行う
6	NPO 法人 長良川環境レンジャー協会	河川環境調査・保全活動及び流域小中学校への環境教育などの啓発活動を行う
7	日本野鳥の会 岐阜	自然と人が共生できる環境づくりを目的に、野鳥を中心とした自然観察、調査研究、自然保護活動を行う
8	NPO 法人 森と水辺の技術研究会	「森と水辺」「水源域と下流域」「流域全体」をつなぐ技術の発展と普及・啓発に資する研究、事業を行う
9	NPO 法人 エヌエスネット	子どもたちに、山・森・川をフィールドにした日帰り又は宿泊を伴う長期キャンプなどの自然体験を提供する
10	NPO 法人 ふれあいの森自然学校	「ながら川ふれあいの森」を主なフィールドとし、自然の魅力に触れ合うことができる自然体験を提供する
11	大洞の里山つくろう会	地域の里山の再生、遊歩道整備などを通じて、住民交流の場の整備と住民交流事業等を行う

◇岐阜市自然環境の保全に関する条例（一部抜粋）

第 21 条（自然環境保全活動団体の承認要件）

- ・ 営利を目的としないもの
- ・ 独立して組織を運営していること
- ・ 市内で活動を実施していること
- ・ 承認は、3 年ごとに更新する

## 指標 3-4 多自然川づくりにより整備された河川の延長【評価：◎】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	
	3,234m	3,698m	3,550m	
指標の見方	生きものの良好な生息・生育環境に配慮して整備を行った河川の延長			
分析	多自然川づくりにより整備された河川は、毎年度延長しており、2020年度以降は目標値である3,550mを達成している。			

## 【多自然川づくりにより整備された河川延長の推移】

区分	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
市内総延長距離	3,234m	3,402m	3,459m	3,574m	<b>3,698m</b>

(村山川 124m を整備)

## ◇多自然型川づくりとは

必要とされる治水上の安全性を確保しつつ、河川が本来持っている生物のよりよい生育環境に気を配り、さらに美しい自然景観を保全・創出を目指した川づくりのこと。

## 【具体的な配慮方法】

- ・植生ブロックや周囲の景観と調和した粗面ブロックの使用
- ・河床幅を広くとり、河川の自由度を確保
- ・素掘りによるみお筋※の設置

※みお筋：平時に流水が流れている道筋のこと



(西出川) ※2020年度に整備

**施策5 環境意識を高めます**

**1 ひとつづくり・まちづくりの推進**

<指標総括>

指標達成率 40%

指標	基準値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	達成状況 目標値と比較して ◎達成/○近づく/△中間・横ばい/×遠ざかる				
			2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
5-1-1 環境に関する取り組みを実施する人の割合	73.8%	増加	◎ (77.0%)	◎ (77.3%)	△ (70.4%)	△ (70.3%)	
5-1-2 岐阜市まるごと環境フェアの満足度	75.2% (2017年度)	増加	◎ (81.1%)	◎ (76.8%)	× (66.5%)		
5-1-3 出前講座への参加者数	3,681人	増加	◎ (6,586人)	◎ (6,456人)	◎ (5,340人)	◎ (9,051人)	
5-1-4 総合的な学習の時間における環境教育の実施校数	50校	増加	△ (48校)	△ (48校)	△ (47校)	△ (46校)	
5-1-5 こどもエコクラブへの参加人数	1,009人	増加	◎ (1,348人)	◎ (1,456人)	◎ (1,327人)	◎ (1,352人)	
5-1-6 環境基本計画の認知度	19.8%	増加	◎ (21.5%)	× (17.6%)	△ (19.0%)	× (17.3%)	

**2 環境重点地区の設定**

<指標総括>

指標達成率 0%

指標	基準値 (2016年度)	目標値 (2022年度)	達成状況 目標値と比較して ◎達成/○近づく/△中間・横ばい/×遠ざかる				
			2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
5-2-1 環境重点地区の認知度	11.2%	増加	△ (10.6%)	× (8.0%)	△ (11.2%)	× (8.8%)	
5-2-2 環境重点地区で環境保全活動などを行う団体数	11団体	増加	△ (11団体)	△ (11団体)	△ (11団体)	△ (11団体)	
5-2-3 中心市街地居住人口	9,271人	増加	△ (8,989人)	△ (8,912人)	△ (8,882人)	△ (8,967人)	

**評価部会からの意見**

- ◎ ごみ減量の取り組みに関する質問に具体例を追記するなど、アンケートの文言をもう少し考えていただきたい。
- ◎ 身の回りの環境に対する意識は高いが、自然や地球という全体に対する意識は低い。結び付きを明示すべき。
- ◎ 出前講座に対応する職員の負担が過度に増えないよう配慮した方がいい。
- ◎ プラスチック製容器包装分別回収の関心と評価は高い。持続性をもつため、処理過程の紹介等を行うといい。
- ◎ 環境教育に関して小中学校にももう少し積極的に働きかけていただきたい。
- ◎ 先生へのアンケートを実施し、市が持っている情報・機材・施設などの周知や利用促進をするなど、環境教育の施策推進のための工夫があるといい。
- ◎ 認知度を指標にするのは見直した方がいい。
- ◎ 環境重点地区に関するアピールをもう少しできるといい。
- ◎ 市中心部の人口減少に対応した環境問題を検討する必要がある。

<個別指標の達成度と関連事業>

**指標 5-1-1 環境に関する取り組みを実施する人の割合【評価：△】**

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	
	73.8%	70.3%	増加	
指標の見方	環境に関するアンケート調査において、環境に関する取り組みのいずれかで5段階評価の「いつもしている」又は「ときどきしている」と回答した人の合計の割合			
分析	環境に関する取り組みを実施する人の割合は、毎年度70%超を維持しているが、2020年度以降は減少傾向にあり、今後も啓発を行っていく。			

**【環境に関する取り組みを実施する人の割合の推移】**

区分	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
環境に関する取り組みを実施する人の割合	73.8%	77.0%	77.3%	70.4%	<b>70.3%</b> (329人)
回答者数 (n)	765人	820人	737人	729人	468人

(環境に関するアンケート調査結果)

回答項目	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
自然を守る取り組みをしている	25.7%	34.6%	32.3%	36.5%	<b>32.7%</b> (153人)
節電や省エネの取り組みをしている	65.2%	63.4%	64.7%	62.0%	<b>62.8%</b> (294人)
ごみ減量の取り組みをしている	64.3%	64.6%	68.6%	59.2%	<b>56.8%</b> (266人)

◇環境に関するアンケート調査

自然を守る、節電・省エネ、ごみ減量について、取り組み状況を調査。

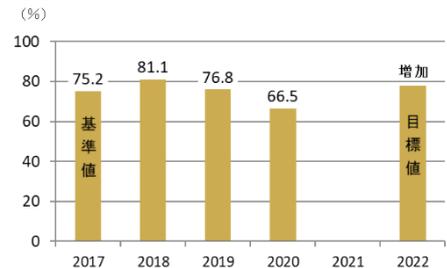
※3つの質問に1つでも4又は5と回答した人の割合を指標としている。

【アンケートの質問形式】

	いつも	5	4	3	2	1	
Q. 自然を守る取り組みをしていますか？	している	-----					していない
Q. 節電や省エネの取り組みをしていますか？	している	-----					していない
Q. ごみ減量の取り組みをしていますか？	している	-----					していない

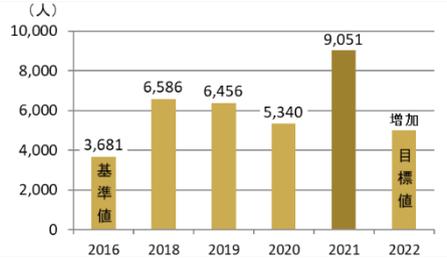
## 指標 5-1-2 岐阜市まるごと環境フェアの満足度【評価：—】

指標	基準値 (2017年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)
	75.2%	—	増加
指標の見方	岐阜市まるごと環境フェアで行うアンケート調査において、5段階評価の「とても満足」又は「満足」と回答した人の合計の割合		
分析	2019年度から「岐阜市エコフェスタ」に名称を変更して実施したが、2020年度でイベントが終了したため、2021年度は評価対象外とする。		



## 指標 5-1-3 出前講座への参加者数【評価：◎】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)
	3,681人	9,051人	増加
指標の見方	環境に関する出前講座への参加者数		
分析	2021年度に実施した出前講座への参加者数は、基準値及び前年度までの数値を大きく上回った。2022年度から市内全域で開始されるプラスチック製容器包装の分別収集に備えて出前講座の需要が高まり、多く開催されたことが大きいと考えられる。		



## 【環境に関する出前講座（2021年度実施）】

分野	講座名	担当課	開催回数	参加者数
自然環境	岐阜市の水環境	環境保全課	3回	122人
	長良川ってどんな川？ 他	環境保全課	3回	550人
地球温暖化	省エネ講座	低炭素・資源循環課	4回	61人
	地球温暖化と私たちの暮らし 環境にやさしい暮らしをしましょう	低炭素・資源循環課	3回	369人
	環境マネジメントと環境経営	低炭素・資源循環課	2回	65人
ごみ減量・資源化	ごみ減量・資源化講座	低炭素・資源循環課	9回	666人
	雑がみ講座 雑がみを資源分別回収に出そう	低炭素・資源循環課	11回	799人
	ダンボールコンポスト講座 生ごみをたい肥にしてみませんか？	低炭素・資源循環課	21回	258人
	食品ロス講座	低炭素・資源循環課	1回	105人
	プラスチック製容器包装出前講座	環境一課	112回	3,658人
総合的な環境教育	総合的な環境教育（小学校6校）	環境部各課	13回	1,073人
	総合的な環境教育（中学校2校）	環境部各課	14回	1,325人
合計			196回	9,051人

（参考：水生生物調査（環境保全課）10回／691人）

指標 5-1-4 総合的な学習の時間における環境教育の実施校数【評価：△】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	
	50校	46校	増加	
指標の見方	総合的な学習の時間において環境教育を実施する小中学校数			
分析	2021年度は、市内小中学校69校のうち46校で総合的な時間における環境教育が実施され、概ね一定数を維持しているが、やや減少傾向にある。			

【総合的な学習の時間において環境教育に取り組む学校数の推移】

区分	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
学校数(小学校/中学校)	50校(39校/11校)	48校(37校/11校)	48校(36校/12校)	47校(35校/12校)	46校(37校/9校)

【学年別実施校数(2021年度)】

学年	実施校数
小学校3年生	16校
4年生	19校
5年生	13校
6年生	0校
特別支援学級	1校

学年	実施校数
中学校1年生	9校
2年生	1校
3年生	1校
特別支援学級	0校

※複数学年で実施した学校：1校

- ・小学校は46校中37校で実施。学年別では4年生が最も多い。
- ・中学校は23校中9校が実施。学年では1年生が最も多い。

※複数学年で実施した学校：11校

◇総合的な学習の時間とは

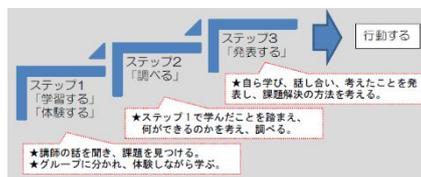
変化の激しい社会に対応して、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目標にしていることから、これからの時代においてますます重要な役割を果たすもの。(文部科学省ホームページより)

◇総合的な環境教育

市内の小中学校と協働で、岐阜市が実施している出前講座等を組み合わせ、総合的な学習の時間を活用した環境教育を実施している。

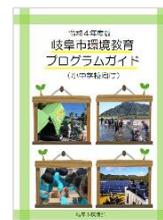
2021年度は、市内小中学校8校で実施。

(詳しくは「令和4年度版 岐阜市環境教育プログラムガイド」31頁～参照)



◇環境教育プログラムガイド

環境部が実施する環境に関する出前講座などを「岐阜市環境教育プログラムガイド」として取りまとめ、市内小中学校へ配布して活用を依頼している。



◇子ども環境白書

子どもたちが環境について気軽に学べるように、岐阜市環境白書を基に「子ども環境白書」を作成している。子ども環境白書では、「自然のこと(生物多様性のこと)」「地球温暖化のこと」「ごみ減量・資源化のこと」をわかりやすく解説。



指標 5-1-5 こどもエコクラブへの参加人数【評価：◎】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	
	1,009人	1,352人	増加	
指標の見方	市内を拠点として活動するこどもエコクラブへの参加人数			
分析	市内のこどもエコクラブへの参加人数は、毎年度1,300人超で目標達成を維持している。2021年度は、33クラブ、1,352人が地域の環境保全活動等に参加した。			

【こどもエコクラブへの参加者数の推移】

区分	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
参加者数(クラブ数)	1,009人(33クラブ)	1,348人(36クラブ)	1,456人(34クラブ)	1,327人(32クラブ)	1,352人(33クラブ)

【こどもエコクラブ一覧(2021年度)】

No.	クラブ名	会員数
1	柳津イオンチアーズクラブ	17人
2	しぜん生きものクラブ天神川	15人
3	長森南中学校1年1組	33人
4	長森南中学校1年2組	34人
5	長森南中学校1年3組	34人
6	長森南中学校1年4組	33人
7	タオのe-co(タオのいーこ)	11人
8	東長良中学校 科学部	41人
9	MMP1(岐阜市立三輪中学校1年1組)	29人
10	MMP2(岐阜市立三輪中学校1年2組)	29人
11	MMP3(岐阜市立三輪中学校1年3組)	30人
12	MMP4(岐阜市立三輪中学校1年4組)	30人
13	長森西小学校4年1組	30人
14	長森西小学校4年2組	30人
15	長森西小学校4年3組	30人
16	西郷小こどもエコクラブ	87人
17	芥見東小学校3年生	50人

No.	クラブ名	会員数
18	柳津小学校5年生	140人
19	岐阜市立三輪南小学校環境クラブ	83人
20	鏡島小学校4年生	93人
21	岐阜県立岐山高等学校自然科学部生物講座	13人
22	岐阜高等学校自然科学部生物班(1)	7人
23	岐阜高等学校自然科学部生物班(2)	7人
24	方県小5年	14人
25	岩野田北小学校4年エコ委員会	80人
26	岐阜北高等学校自然科学部	8人
27	THGAL～光るエコ消しゴム～	2人
28	岐阜イオンチアーズクラブ	7人
29	七郷小学校4年生	131人
30	且格小学校5年生	40人
31	岐山高等学校自然科学部魚班	13人
32	岐山高校インターアクト部	21人
33	鶉小学校5年生	130人

◇こどもエコクラブとは

環境省が1995(平成7)年から始めた幼児(3歳)から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブ。

子どもたちが地域で主体的に行う環境活動、環境学習を支援することにより、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることを目的としている。

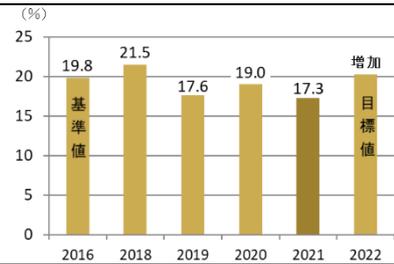
登録クラブには、活動・学習支援ツールの配布、賠償責任保険の加入などの支援がある。



(公益財団法人 日本環境協会ホームページより)

## 指標 5-1-6 環境基本計画の認知度【評価：×】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)
	19.8%	17.3%	増加
指標の見方	環境に関するアンケート調査による認知度		
分析	環境基本計画の認知度は、毎年度 20%前後であるが、2021年度は基準値や前年度の値を大きく下回った。要因として、毎年度実施していた「岐阜市エコフェスタ」が2020年度で終了したことに伴い、アンケート調査の対象が変わったことが考えられるが、今後より一層積極的な広報が必要である。		



## 【環境基本計画の認知度の推移】(環境に関するアンケート調査結果)

回答項目	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
(環境基本計画を) 知っている	19.8%	21.5%	17.6%	19.0%	17.3% (81人)
(環境基本計画の) 名前は知っている	28.2%	31.7%	33.1%	33.2%	24.6% (115人)
(環境基本計画を) 知らない	51.9%	46.8%	49.3%	47.9%	58.0% (271人)
回答者数 (n)	786人	840人	752人	728人	467人

## ◇環境に関するアンケート調査

毎年度、みんなの森 ぎふメディアコスモス来館者及び岐阜市エコフェスタ来場者を対象とした環境に関するアンケート調査を実施。なお、「岐阜市エコフェスタ」は2020年度で終了したため、2021年度はみんなの森 ぎふメディアコスモス来館者のみを調査対象とした。

## 【アンケートの質問形式】

Q. 岐阜市の環境を守るため、自然との共生・共存地球温暖化対策、ごみ減量などの取り組みをまとめた「岐阜市環境基本計画」を知っていますか？

知っている       名前は知っている       知らない



指標 5-2-1 環境重点地区の認知度 【評価：×】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	
	11.2%	8.8%	増加	
指標の見方	環境に関するアンケート調査による認知度			
分析	環境重点地区の認知度は、毎年度 10%前後であるが、2021 年度は基準値及び前年度の値を下回った。アンケート調査の対象が変わった影響もあると考えられるが、今後より一層積極的な広報が必要である。			

【環境重点地区の認知度の推移】(環境に関するアンケート調査結果)

回答項目	2016 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
(環境重点地区を) 知っている	11.2%	10.6%	8.0%	11.2%	<b>8.8%</b> (41 人)
(環境重点地区の) 名前は知っている	19.0%	22.8%	23.3%	22.3%	<b>20.5%</b> (96 人)
(環境重点地区を) 知らない	69.7%	66.6%	68.7%	66.5%	<b>70.7%</b> (331 人)
回答者数 (n)	783 人	839 人	747 人	725 人	468 人

◇環境重点地区とは

岐阜市環境基本条例第 9 条に基づく「環境の保全及び創出について重点的に取り組む地区」のことで、環境基本計画で設定することとしており、環境に配慮した「まちづくり」に繋がるもの。第 4 次環境基本計画では、自然環境が特に豊かな地区を保全するため、そして低炭素のまちづくりを推進するため、以下の地区を環境重点地区に設定し取り組みを行うこととしている。

環境重点地区		環境配慮対策
生物多様性 保全タイプ	①長良川区域、 ②金華山区域、 ③百々ヶ峰区域	豊かな生物多 様性を保全す る区域 ・生物多様性を保全することを 最優先とします ・開発を行う場合は、影響を最 小限にするよう配慮します
低炭素都市 創造タイプ	④中心市街区域	低炭素都市の まちづくりを 推進する区域 ・集約型市街地の形成により、 生活や交通によるエネルギー 利用の効率化を図ります



(環境重点地区の区域)

◇環境に関するアンケート調査

【アンケートの質問形式】

Q. 岐阜市の特に豊かな自然をそのまま保護する地区や、岐阜市の自然が少ないため自然環境を創り出す地区を定めた「環境重点地区」を知っていますか？

- 知っている       名前は知っている       知らない

## 指標 5-2-2 環境重点地区で環境保全活動などを行う団体数【評価：△】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	(団体)
	11 団体	11 団体	増加	
指標の見方	生物多様性保全タイプの区域内において環境保全活動などを行う団体の数			
分析	自然環境保全活動団体は、11 団体から変動がないものの、多くの市民が参加し、自主的に自然環境の保全・創造活動を行っている。			

## 【生物多様性保全タイプの区域内において環境保全活動などを行う団体】

(岐阜市自然環境の保全に関する条例第 21 条の規定により承認された自然環境保全活動団体)

No.	対象団体	活動場所
1	達目洞自然の会	達目洞（金華山麓）
2	十時会	金華山国有林
3	金華山サポーターズ	金華山国有林
4	ボランティア「風と土の会」	岐阜市竹林広場公園
5	NPO 法人 ぎふし森守クラブ	ながら川ふれあいの森等
6	NPO 法人 長良川環境レンジャー協会	長良川中流域
7	日本野鳥の会 岐阜	岐阜県内全域
8	NPO 法人 森と水辺の技術研究会	岐阜県内各所
9	NPO 法人 エヌエスネット	岐阜市内
10	NPO 法人 ふれあいの森自然学校	ながら川ふれあいの森等
11	大洞の里山つくろう会	大洞地区

※「令和 3 年度版 岐阜市環境白書（本編）」123～124 頁に、自然環境保全活動団体の紹介を掲載

## ◇岐阜市自然ふれあい地域ビジョン

市民との協働による自然環境保全のあり方を示す「自然ふれあい地域ビジョン」。

「地域の自然は地域の誇り！」を合言葉に「自然ふれあい活動」の支援を通して、地域をはじめ、学校や団体、有識者、事業者等と連携し、それぞれが担うことができる役割を果たし、本市の自然を次世代に引き継ぐことを目的として平成 19 年 3 月に策定。

## ◇ぎふネイチャーネット

岐阜市の身近な自然を周知し、未来へ引き継ぐための情報ツールとなることを目指して立ち上げた自然・環境活動情報サイト。

金華山、達目洞、大洞、山県北野地区などの岐阜市の自然環境の情報や、市内で活動する自然環境保全活動団体の紹介や活動予定も発信している。



(ぎふネイチャーネット HP)

指標 5-2-3 中心市街地居住人口【評価：△】

指標	基準値 (2016年度)	現況値 (2021年度)	目標値 (2022年度)	
	9,271人	8,967人	増加	
指標の見方	低炭素都市創造タイプ（中心市街地）における居住人口			
分析	中心市街地居住人口は、概ね9,000人前後で推移しているが、2020年度までは減少傾向にあった。2021年度は、基準値を下回るも前年度より増加しており、今後、高島屋南地区の再開発事業等の影響により、さらなる増加が期待できる。			

【中心市街地居住人口の推移】

区分	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
中心市街地居住人口	9,271人	8,989人	8,912人	8,882人	8,967人

◇低炭素都市創造タイプとは

低炭素都市へのまちづくりを推進する区域として、環境重点地区に設定している。

（環境重点地区には、当該タイプと「生物多様性保全タイプ」の2つを設定。）

集約型市街地の形成や公共交通ネットワークによって、「コンパクト＋ネットワーク」のまちづくりに取り組み、便利で暮らしやすく、地球環境にもやさしい低炭素都市へのまちづくりを図っている。

◇中心市街地とは

「岐阜駅北地域」、「柳ヶ瀬通周辺地域」と、新たな集客拠点を形成する「つかさのまち」を核とする約155haのことで、「岐阜市中心市街地活性化基本計画」で中心市街地活性化基本計画区域に設定されている区域。

※2018年3月に3期目の中心市街地活性化基本計画を策定  
（計画期間：平成30年4月～令和5年3月）

また、都市の長期的なまちづくりの方針を総合的・体系的に示した「岐阜市都市計画マスタープラン」では、高度で多様な都市機能が集積した、岐阜連携都市圏の中心的な役割を担う「都心拠点」として位置づけられている。



中心市街地活性化基本計画区域  
(3期 中心市街地活性化基本計画より)

◇市街地再開発事業

市街地の土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図るため、建築物及び建築敷地の整備並びに公共施設の整備を行う事業。

高島屋南地区第一種市街地再開発事業においては、現在「柳ヶ瀬ガラスル35」が建設中で、2023年春に完成する予定。

## 4 評価結果の公表

### (1) 評価結果の公表

#### 評価部会からの意見

- ◎ 計画の進捗状況や岐阜市の取り組みを多くの市民に理解してもらい、環境に配慮した行動を促すことは非常に大切であることから、積極的に広報してもらいたい。

### (2) 評価結果への対応

#### 評価部会からの意見

- ◎ 全体評価や施策評価毎に付した意見を基に、改善や見直しを行うとともに、その対応状況を適宜、環境審議会に報告してもらいたい。

## 5 環境白書の改善等

### (1) 環境白書に関する意見

#### 評価部会からの意見

- ◎ 環境白書は、環境基本計画を補完するとともに、環境に関するデータや結果、進捗をアピールする大事な役割を担っており、掲載内容は多くなってしまいが、より良い環境白書を作っていただきたい。あわせて、色々なところで見てもらえるように一層周知してもらいたい。
- ◎ 毎年6月が環境月間にあたるため、広報ぎふ6月号で、環境白書等の取り組みを宣伝するなど広報してもらいたい。
- ◎ 現在、市内の小中学校と特別支援学校のすべての児童生徒に、タブレット端末が貸与されていることから、子どもたちがタブレット端末で環境白書を見る際に、見やすくなるように考えてもらいたい。

### (2) 環境白書の改善内容等

#### 評価部会からの意見

- ◎ 環境白書のコラムはよくできている。Web上で利用者がアクセスしやすくなるようさらに工夫してもらいたい。
- ◎ 子ども環境白書はよくできている。環境白書もさらに内容を工夫してもらいたい。

## 6 令和3年度の評価結果への対応

### (1) 施策2の評価結果について

◎ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ぎふ減CO2ポイント制度への参加者が減少しているが、それによって市民の環境意識が低下しているわけではないので、今後も継続して環境意識を高める努力をしてもらいたい。

⇒ 今後も継続して施策を推進していきます。

◎ ぎふ減CO2ポイント制度の参加者減少については、手続きの面倒さが原因であるため、PDFデータによる申し込み等手続きの簡略化を検討してもらいたい。

⇒ インターネット(web)と応募用紙による応募方法があり、インターネットによる応募の場合は、当選後、当選者にのみ書類の提出をお願いしています。今後、さらに方法を簡略化できるよう検討します。

### (2) 施策4の評価結果について

◎ 雑がみの回収量について、資源分別回収の中止などの影響もあり、回収量の減少も仕方がないことであるが、今後この指標を継続するか検討する必要がある。

⇒ 次期計画の指標を検討する際に意見を報告し、検討部会において指標の変更を検討しています。

◎ ごみ焼却量においては、生ごみ量が減少しないため、経費的視点の導入指標を入れて啓蒙してはどうか。

⇒ 生ごみの減量・資源化をより効果的に進めるため、ごみとして焼却する処理経費についても触れながら、ダンボールコンポスト等による減量を周知・啓発していきます。

◎ ごみ焼却量は減少しているものの、人口減1.4%を差し引くとわずか1.5%である。さらなる対応策が必要である。

⇒ 雑がみ回収やダンボールコンポストなどの施策を引き続き推進するほか、さらなるごみ減量に取り組んでいきます。

◎ 3Rの中のReduceに力点を置いた現状施策になっているためReuseとして、マイバック利用のような施策を増やす方向性を薦める。

⇒ 不用品の再利用といったReuseとしての施策を増やすことを検討します。

◎ 学校で実施されている児童生徒による雑がみ回収を市内全域に広げてもらいたい。

⇒ 今後もより多くの学校に実施してもらえるよう働きかけを行います。

**(3) 施策5の評価結果について**

◎ 岐阜市エコフェスタのメインイベントで実施していたアンケート調査を今後どのように実施するのかを検討してもらいたい。

⇒ 引き続き、ぎふメディアコスモスで年2回のアンケート調査を実施する予定です。

◎ 「総合的な学習の時間」について市からの働きかけが十分に行われているが、今後時間数は減っていくと思われるので、この指標を続けていくかは検討が必要である。

◎ 学校だけでなく、公民館等で実施する講座も含めて指標とすることを検討してもらいたい。

◎ フェアやフェスタなどのイベントは回を重ねると参加者が減少するので、数値目標を設定しないことも考えるべきである。

⇒ 次期計画の指標を検討する際に意見を報告し、検討部会において指標の変更を検討しています。なお、出前講座については、公民館等で実施する講座も指標の対象として含めています。

◎ 環境重点地区の選定について、長く同じ場所を選定することは良いことではあるが、その選定理由を明確にし、説明できるようにしてもらいたい。

⇒ 岐阜市のシンボルである、金華山、長良川、百々ヶ峰については、長く環境重点地区に選定されています。次期計画では、その選定理由を明確にし、市民の皆様に理解していただけるようにします。

◎ 環境重点地区の認識が広がっていないことは、ウェブの掲載整備が整っていないことが原因と考えられる。ウェブやパンフレットなど紹介方法を改善し、市民へ重点地区をアピールするべきである。

⇒ ウェブ上に環境重点地区を紹介するページを作成するなど、周知方法を検討します。

## 7 資料

(1) 点検・評価作業の経緯

## ◇岐阜市環境審議会環境基本計画評価部会

回数・開催日	審議内容等
第1回 令和4年7月29日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基本計画の点検・評価方法の進め方について</li> <li>・環境基本計画の施策評価について 施策1「生活環境を快適にします」</li> </ul>
第2回 令和4年9月1日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回評価部会のまとめ</li> <li>・環境基本計画の施策評価について 施策3「生物多様性を保全します」 施策5「環境意識を高めます」</li> <li>・令和4年度岐阜市環境基本計画評価報告書(案)について</li> <li>・令和4年度版「岐阜市環境白書」について</li> </ul>
第3回(書面開催) 令和4年9月30日(金) (書面決議 10月14日(金))	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回評価部会のまとめ</li> <li>・第2回評価部会のまとめ</li> <li>・令和4年度岐阜市環境基本計画評価報告書(案)について</li> </ul>

(2) 岐阜市環境審議会環境基本計画評価部会委員名簿

(委員区分毎五十音順)

区分	所属等	氏名	備考
1号委員 学識経験者	岐阜大学流域圏科学研究センター	児島 利治	部会長
2号委員 事業者、環境保全団体 その他環境の保全及び 創出にかかわる団体の 関係者	長良川環境レンジャー協会	坂井田 節	副部会長
	岐阜市生活学校	杉山 秀子	
5号委員 公募に応じた市民	公募	田中 小百合	
	公募	辻本 和雄	

**(3) 岐阜市環境審議会委員名簿**

(委員区分毎五十音順)

区分	所属等	氏名	備考
1号委員 学識経験者	岐阜大学 流域圏科学研究センター	児島 利治	
	岐阜薬科大学	酒井 英二	
	岐阜大学 社会システム経営学環	三井 栄	会長
2号委員 事業者、環境保全団体 その他環境の保全及び 創出にかかわる団体の 関係者	岐阜市小中学校長会	青木 秀樹	
	生活協同組合 コープぎふ	藤田 朋子	
	岐阜市自治会連絡協議会	笠井 和美	
	岐阜市生活学校	杉山 秀子	
	長良川環境レンジャー協会	坂井田 節	
	岐阜商工会議所	内藤 哲男	副会長
3号委員 関係行政機関の職員	岐阜県	八代 英彦	
4号委員 市議会議員	岐阜市議会	和田 直也	
5号委員 公募に応じた市民	公募	田中 小百合	
	公募	辻本 和雄	
	公募	山口 博美	

#### **(4) 岐阜市環境審議会環境基本計画評価部会設置要領**

(設置)

第1条 岐阜市環境基本計画（以下「計画」という。）の推進状況について専門的に調査審議するため、岐阜市環境基本条例（平成18年岐阜市条例第61号。以下「条例」という。）第24条第8項の規定に基づき、岐阜市環境審議会（以下「審議会」という。）に環境基本計画評価部会（以下「部会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 部会の所掌事務は、次に掲げる事項を調査審議するものとする。

- (1) 岐阜市環境白書の内容に関する事項
- (2) 計画の推進状況の点検及び評価に関する事項
- (3) 前2号に掲げるもののほか、計画の推進に関する事項

2 部会は、調査審議した結果を審議会に報告するものとする。

(組織)

第3条 部会は、委員6名以内をもって組織する。

2 委員は、条例第24条第9項の規定により、審議会の会長がこれを指名する。

(任期)

第4条 委員の任期は、部会の目的を達成するまでとする。ただし、審議会委員としての任期を超えることはできない。

(部会長及び副部会長)

第5条 部会には、部会長1人及び副部会長1人を置き、委員の互選により定める。

2 部会長は、会議の議長を務め、会務を総理する。

3 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるとき又は部会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 部会は、部会長が招集し、その議長となる。

2 部会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 部会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 部会長は、条例第25条第4項の規定により、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて、説明を求め、又は意見を聴くことができる。

2 前項に基づき、委員以外の者を出席させる場合は、予算の範囲内で報償費を支払うものとする。

(庶務)

第8条 会議の庶務は、環境部環境政策課において行う。

(その他)

第9条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この要領は、平成22年5月12日から施行する。

附 則

この要領は、平成31年4月1日から施行する。

